

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.5 平成29年5月29日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org

メールは
こちら



学校づくりの話をも、みんなでする その「共同」が、職場の力合わせへ

春の学校づくりの懇談と、分会発信の取り組みから

分会のおたよりで「学校づくり」を語ろう

新年度がスタートして2か月。運動会を迎える学校が多い時期です。さて、宗谷教組では、4月から「春の学校づくりの懇談資料」を活用し、『“こう”いう学校づくりをしていきたいね』ということを、分会で議論し、また、校長先生と懇談することを呼びかけています。

みなさんの分会では、どうでしょうか。「忙しくてできないよ」とか「何を話したらいいかわからないよ」と、なかなか取り組めない場合もあると思います。今回は、稚内南小の分会の様子を紹介しましょう。

稚内南小分会 愛と絆の南小分会

稚内南小分会の分会おたより『愛と絆の南小分会』最新号。分会執行部と校長先生による懇談の様子がまとめられています。懇談の様子として「学校の課題」「保護者との力合わせ」「新学習

愛と絆の南小分会 2017. 5. 23

期待しています!!

5月19日(水)17:00頃~校長先生と分科(分会執行部)メンバーで懇談しました。

4月に行った分会会議を元に分科ごとに話をしました。校長先生からは「学校、稚内市、管内の課題について、共に考える集団の1つとして大事な団体だと思っています。」というお話をいただきました。地域や学校の課題を、管理職も含めて共通していきながら、たくさんの方が(職員会議や伊豆でも)意見を話し合っていて、それが民生的学校づくりであるという、どこかの組合の人みたいな話もしていました。

懇談の中で、南小学校の課題として共通になったのは、生活リズムや経済状況などの親の生活が子どもに影響を与えているということ。子どもが育つ生活基盤が弱ってきているからこそ、部会や研修、子育てネットワークなどの外部機関の力も借りて子どもたちだけでなく親も一緒に見ていかなくてはならないのでは、ということでした。

親同士のつながりも、希薄になっていたり弱っていたり、子どもたちを見ていてと食に好き嫌いがあの子は、友だち関係にも弱りがあるように見える。

学校にいると話を聞くと「困った親」なわけではないか、というところ、話を聞いて、一緒に子どもを育てていくというスタンスを持ち続けることで関係を作っていくことが大事だということ。

新学習指導要領については、教務や研修を中心に具体的に教育課程を考えていく。望みの進め、組合には期待して下さっています。前号とも書いていただきました。私たち組合員も、職場の一員としてできる部分で力を発揮していきたいです。

宗谷の教職員組合運動の長い歴史の中で、最も大切な

南小分会の取組から学ぼう

- ①分会長さんは書いていない
分会執行部を中心にみんなでサポートしあっている発行に。
- ②懇談内容がよくわかる!
分会執行部が、学校づくりのために奮闘している様子は、職場の元気につながります。
- ③「よくわからない」をフォロー
コラムで、本部・支部・分会、全教・道教組との関係をまとめています。改めて聞きにくい「そもそも」の部分フォローする優しさも。

指導要領」などのトピックがまとめられています。こうして「まとめ」としての分会情報を見ると、懇談の場になくとも、「うちの学校の先生方、こんな視点を持っているんだ」とか「学校づくりでの力合わせ」の様子が出て、職場に元気が出るものです。

学校づくりの話をも、みんなでする その「共同」が、職場の力合わせへ!

にされてきたことのひとつに「対話」があります。「こいう教育を、大切にしたい」という教育条理に基づいて教育関係者や地域・保護者と語り合ってきた歴史です。その中で、私たちが働く各学校で取り組まれてきたものが「春の学校づくりの懇談資料」にある中身についての懇談です。

春の豊かな営みが 学校づくりと人事に つながる

秋になると、「学校づくりと人事の取り組み」が始まります。人の出入り(異動)や来年度の一人一人の働き方に係るので、興味を持たれる方も多そうです。

しかし、春から取り組む「学校づくりの懇談資料」による懇談をはじめとした日々の分会活動、組合運動という土台があるからこそ、人事の取り組みを充実させることができるのです。だからこそ、春の分会の取り組みを進めましょう。

今からでも大丈夫。「校長先生、『学校づくりのコト』お話しませんか?」とお願ひしてみましょう。

分会情報、お待ちしています!

ぜひ、あなたの分会の分会情報を本部に寄せてください。支部や分会の様子をみんなが知ることは、宗谷教組の運動を豊かに、元気にします。PDFでも写真に撮ったものでもかまいません。QRコードでお気軽に。

3月末に学習指導要領が改訂されて、先生方と話をする中で指導要領改訂や教育課程づくりの話が増えてきた印象があります。小学校で二〇二〇年完全実施というところで、まだ時間はありそうに見えます。しかし、時期に応じて細かく見ていくと、ハイペースに準備を進めていく必要があることに気付きます。

2018年4月、少しずつ学校に変化が。

- 幼稚園教育要領完全実施**
幼稚園では来年度から新しい「幼稚園教育要領」による教育活動が、「資質・能力」の導入による内容の見直しを受け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が新設。「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」が追加。
- 道徳の教科化**
年間指導計画・評価等についての準備や、子どもたちが学校生活の中で感じたり考えたりすることとのバランスを考えていきたいものです。
- 外国語の前倒し実施可能に**
文科省は、小学校中学年の外国語活動と、高学年の英語の時間を来年度から前倒して増やして行くことを容認。総授業時数に影響が及ばないように、総合的な学習の時間との時数のやり繰りを認めるという内容です。

シリーズ 新学習指導要領で子どもと学校は?

④ 来年からはじまる、変化。

小学校「道徳」教科書の展示会はじまる

今年小学校道徳教科書の採択が行われます。日程は文部科学省の定めに沿って「**6月16日から14日間**」を基本に、その前後で行われます。初めて道徳教科書ができるということで、8つの教科書が発行されます。教科書会社によって得意分野があるため、各教科書に様々な特徴が表れています。

各市町村の教科書展示会は、役場・図書館・市民センターのいずれかで開催されます。ぜひ教科書展示会に足を運んでみましょう。

【発行される教科書】

書名	発行者
新しい道徳	東京書籍
かがやけみらい 小学校 道徳	学校図書
小学道徳 はばたこう明日へ	教育出版
道徳 きみが いちばん ひかるとき	光村図書
小学道徳 生きる力	日本文教出版
小学道徳 ゆたかな心	光文書院
みんなの道徳	学研
みんなで考え、話し合う 小学生の道徳	廣済堂あかつき

※掲載順は、文部科学省発の小学校用教科書目録(平成30年度使用)による。

今から少しずつ考えていきたい。教育のこころ。前回の改訂の際には各教科で移行措置が多く、『補助教材』を2年間ほど使う時期がありました。今回はそうした具体的な変化が少ない一方、枠組みを整備することに時間をかけることで学校づくりを豊かにすることが求められます。子どもたちの学習の具体的な変化とともに、完全実施に向けて動きを作る大事な時期です。二〇一八年度の幼稚園(年中児)、小学校では3年生から少しずつ二〇二〇年に向けた変化が始まります。



全道・全国で活躍する宗谷教組のな・か・ま！

宗谷教組は、全教・道教組の運動に結集する職員団体です。宗谷教組の運動が、私たちの身の回りだけでなく、全道・全国の仲間とつながっています。今年、道教組や全教の取り組みの中心に関わっている先生が多くいます。

女性部から▶道教組女性部長

道教組女性部は輪番で部長を担当しています。昨年末までは檜山教組の先生が担当されていました。今年から2年間、宗谷教組が担当します。宗谷教組でも女性部長をしてくださっている山本佳奈子先生が道教組でもがんばってくださいしています。

養護教員部から▶全教養護教員部常任委員

養護教員部では、斎藤由美先生が全教養護教員部の常任委員を引き受けてくださっています。稚内から東京の会議に参加するには時間がとてもかかります。そうした中で、年に数回の全教養護教員部の会議に参加し北海道、宗谷の現状を全国に発信して下さっています。

事務教員部から▶道教組事務職員部長

事務職員部では、来年の夏に全国学習交流集會を予定しています。その準備も含めて、道教組事務職員部長として永島敦史先生が、全道・全国に向けて取り組みを進めてくれています。

本部役員だけでなく、たくさんの先生が「組合づくり」を支えてくれています。また、役員ではなくとも、気軽に参加できる学習交流集會がたくさんあります。チャンスはいっぱいあります。ぜひ、あなたも全道・全国の風を感じてみませんか？

宗谷教組「秋の教研集會」 9月30日午後／稚内市内 ①ミニシンポジウム 教育課程づくりに関する内容を予定 ②分科会 レポート討議をして学び合おう！

管内の先生方どうしが学びあう機会に。そして、小学校の先生も、中学校の先生もそれぞれに学びあえる分科会を開催。初めての取組。ぜひご参加を！



◆先日の支部代表者会議、学び愛フェスタの総括を行いました。その中で「管内の先生方どうしが、まさに『学び愛』を体現する

ような教育研究集會を」「中学校の先生が『行くぞ』と思えるような集まりはできないものか」という議論になりました。そこで生まれたのが9月30日の教育研究集會です。宗谷では初めての試み。あと4ヶ月で少しずつ盛り上げていきます。みなさんのお力添えをぜひ！

◆月に2回の宗谷情報、今回はちょっと立て込んでしまい発行がずれてしまいました。でも、伝えたいことはいっぱいあるんです。読みやすい紙面、わかりやすい情報のためにはみなさんの「声」が必要です。分会情報をポチッとメール、あるいは感想お待ちしています。

◆国会では、「テロ等準備罪」にまつわる審議が参議院に。こちらの情勢はミニニュース「子どもたちの平和な未来を守るゾウ」で。(naity)

子どもが学ぶ姿を意識して 徳水実践から学ぶ 全体講演は宮城県の元・小学校教師 徳水博志さんによる『新学習指導要領の教育は宗谷の子どもたちを幸せにするのか？』 地域に根ざした教育実践を地域と連携してつくりたい！ 東日本大震災直後の二〇一一年六月から二〇一二年にかけて

取り組んだ地元・雄勝について子どもたちがそこに住む住民として体験し考え合う「復興教育」についてのお話、そして(都会と対比した「地方」という点で共通点がある)宗谷における地域学習の可能性などをお話してくださいました。

◆新学習指導要領改訂の前に、徳水先生のお話を聞き、改めて『誰のための教育課程なのか』を考えることができました。 ◆お話を聞きながら、復興に立ち上がる大人・教師・そして子どもたちの映像を見ながら、ふと、いつもの自分の授業、子どもたちの表情を思い出しました。『何につながっていくの

ちょっと前の時代、フェスタ開催に当たっては小学校の先生はもちろん、中学校の先生方も部活を休みにするなどして集ったといえます。今は、なかなか

学び愛フェスタ100人集う！ 9月30日、教育研究集會開催！

かそうはいきません。一方で、ここ数年でいえば「フェスタの続きの学びがあればいいの」という声を聞きます。そこで、九月三〇日に宗谷教組として初めての取組「秋の教研集會」を行います。

五月一三日に第二五回学び愛フェスタを開催。一〇〇名を超える先生方が稚内に集い全体講演、講座から学びを深めました。春の学びを振り返ります。

学ぶ喜び・愉しさを味わおう！ 学び愛フェスタに100人集う

が実際に子どもたちと授業をしている様子の動画も紹介されました。子どもの疑問やつぶやきをもとに課題が作られていく様子や、総合的な学習の時間の中で探究の視点が定まってくる様子に参加された先生からは次のような感想がありました。

「だろっ」と考えながら過ごしている子どもたちがいるのではないかと。 ◆徳水先生の貴重な教育活動の資料の中から伝わる、徳水先生の教育者としての使命感、何よりも自身が被災された中、発想の転換とあきらめない姿勢を宗谷に届けてくれたこ

とに感謝します。徳水先生の姿が私たち教師に勇気づけてくれたように感じました。 こうした声を今後の教育研究運動につなげていくことを大切に、宗谷で豊かな教育実践を進めましょう。

今年も開催！若者の集い！ 7月29日、枝幸にて！



宗谷教組青年部の伝統行事「若者の集い」。ここ数年では豊富町・礼文町、ちょっとさかのぼって中頓別町などでも開催してきました。青年部を中心に今年も開催できないかと模索してきました。

今年は、枝幸町で開催します。詳細は枝幸支部執行部を中心に計画をしているところですが、今年も枝幸名物を体感できる1日になることと思います。詳しいチラシは6月末に発行予定です。今から夏休みの予定を空けてくださいね。枝幸支部の先生方は「どんなふうにおもてなしできるか」と考えてくださっています。この奮闘にはぜひ、参加して激励しましょう！

